

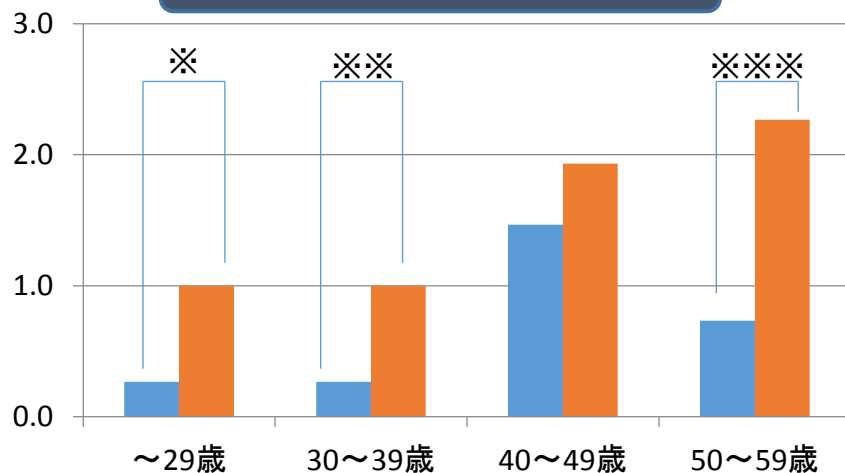
糖尿病と歯周病の関係について

中 医 協 総 - 1
2 7 1 1 2 0

- 糖尿病患者は歯周病にかかりやすいこと、また、重度の歯周病は糖尿病のリスクファクターであることがわかってきている。
- 歯周治療による血糖値改善については、複数の文献が認められ、糖尿病患者に歯周治療を行うと血糖コントロールが改善することが示唆されている。

(分画数)

糖尿病と歯周病の関係1



(n=652) ■ コントロール ■ 糖尿病 (n=652)

※; p<0.05, ※※; p<0.01, ※※※; p<0.001

出典 : 「平成13年度厚生労働科学研究 口腔保健と全体的な健康状況の関係について」

糖尿病と歯周病の関係2

著 者	年	主な結果
Arora et al.	2014	非糖尿病被験者1,165人。重度歯周病は糖尿病のリスクファクターである。オッズ比2.05 (95%信頼区間1.24~3.39)

歯周治療による血糖値改善についての文献(メタ解析)

著 者	年	主な結果
Janket et al.	2005	歯周治療後にHbA1cが0.38低下。2型糖尿病は0.66%、抗菌薬服用者は0.71%低下。
Teeuw et al.	2010	歯周治療後にHbA1cが0.40低下 (p=0.03)
Simpson et al.	2010	歯周治療後のHbA1cが-0.40 (95%信頼区間-0.78~-0.01、p=0.04)
Engbretson et al.	2013	歯周治療後のHbA1cが-0.36 (95%信頼区間-0.54~-0.19、p<0.0001)
Sgolastre et al.	2013	2型糖尿病患者の歯周治療後にHbA1cが0.65低下 (95%信頼区間0.43~0.88、p<0.05)。空腹時血糖値が9.04低下 (95%信頼区間2.17~15.9、p<0.05)

出典 : 「健康長寿社会に寄与する歯科保健医療のエビデンス」を医療課で改変